

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3873600369		
法人名	株式会社 村上工務店		
事業所名	グループホームやまと		
所在地	大洲市長浜町下須戒甲1772番地 (電話) 0893-52-0319		
管理者	山下 淳子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月17日	評価確定日	平成20年9月29日

【情報提供票より】 (平成20年9月2日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,500 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年9月2日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.2 歳	最低 79 歳	最高 93 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>片まひのある方が、畑で採れた豆の皮を自力でむいて下さったことに、職員は感動されていた。又、職員は、農業をされていた方に聞きながら畑作りをされている。 外部研修受講時、職員は「ゆび体操」を学ばれ、日々の中に採り入れられた。事業所内の勉強会では、市から配布された「感染症対策」のDVDを見て勉強をされた。 日々の散歩は、朝夕にされる方もいる。共用空間でカラオケを楽しまれる方もいる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・この一年間、地域交流や落ち着いた利用者の方への対応について、特に力を入れて取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者は、数名の職員と話し合い、自己評価を作成された。管理者は、自己評価作成時に、身体機能の維持、向上への取り組みや、利用者個々の意欲を引き出す働きかけの大切さに気付かれた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・2か月に1回、会議を開催され、行事や畑の様子、職員の異動等について報告をされている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。又、毎月発行されている「やまとだより」では、写真を多く載せ、行事での様子や畑での収穫の様子を伝えておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・近くの保育園の園児達が敬老の日に訪れ、歌等を聞かせてくれた。又、保育園の夕涼み会等の行事にも参加されている。小学校も近くにあり、運動会等には見学に行かれている。事業所の畑を通じて、近所の方ともお話をする機会が増えている。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 株式会社 村上工務店 グループホームやまと

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

山下 淳子

評価完了日

平成 20年 9月 2日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			(明るく・楽しく・穏やかに)という理念と地域に密着し、地域との交流を深め大事にしている。		地域の行事や祭り事には、参加している。
			(外部評価)		
			事業所では、理念に基づき「第二の我が家として、共同生活の中で、利用者一人ひとりが、のんびりと暮すことができるよう支援する」ことを目指しておられる。		さらに、貴事業所が地域の中の介護保険事業所として、どのようなことを目指していくのかということについても、この機会に話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に基づき、すべての入居者が穏やかに生き活きと過ごしていただけるよう日々取り組んでいる。		1人1人やれる事を見つけ、楽しみをもって充実した生活を送っていただくよう支援していく。
			(外部評価)		
			理念について、職員会議時等で話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居者の家族の方には、契約時には、説明をしているが、地域の方々への浸透には至っていない。		ホームだよりを作成し、ホームの活動を知っていただくよう区長さんをお願いし、回覧板を回してもらい地域の方に、理解してもらえるよう取り組んでいく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常的な挨拶や地域行事に参加を行い、知り合いになりホームに気軽に遊びに来て頂けるよう努めていく。</p>		<p>ホームの畑で実ったトウモロコシなど、地元の保育園児にも一緒に収穫を楽しんだ。</p>
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の祭り事・行事には、可能な限り参加している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>近くの保育園の園児達が敬老の日に訪れ、歌等を聞かせてくれた。又、保育園の夕涼み会等の行事にも参加されている。小学校も近くにあり、運動会等には見学に行かれている。事業所の畑を通じて、近所の方ともお話をする機会が増えている。</p>		<p>引き続き地域との交流を深めていこう努める。</p>
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域への認知度が十分とは言えない、地域の人達と話し合う機会も少ない。</p>		<p>地域の各役員を本軸として、情報を集め地域への貢献を行っていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員会議を常に関き、協議を行い改善を行った。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、数名の職員と話し合い、自己評価を作成された。管理者は、自己評価作成時に、身体機能の維持、向上への取り組みや、利用者個々の意欲を引き出す働きかけの大切さに気付かれた。この一年間、地域交流や落ち着いた利用者の方への対応について、特に力を入れて取り組まれた。</p>		<p>改善すべき事は、十分とは言えないが改善できたと思う。今後も引き続き努力していきたい。</p> <p>さらに、サービス評価の仕組みを活かして、貴事業所のさらなるケアの質向上を目指していかれることが期待される。評価結果や家族アンケートの集計表を使った取り組みや評価項目の理解等、職員の勉強会等でも活用されてみてはどうだろうか。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			地域の有識者からの助言を多くいただく事ができ、職員にも伝え日々の業務に生かしていくよう努めている。		もっと多くのお方へ出席して下さるように、お願いしていきたい。 運営推進会議を盛り上げるよう努力していきたい。
			(外部評価)		
			2か月に1回、会議を開催され、行事や畑の様子、職員の異動等について報告をされている。		さらに、事業所では、会議への出席者を増やしていきたいと考えておられる。管理者は、「利用者が、いろいろなとかかわりながら暮らすための取り組み」について、会議でいるいるな立場の方から、意見をいただきたいと考えておられる。開催時間等の再考も検討されていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			入居者について、行政の事でわからない事があれば、常に相談している。		今後も親密な連携が図れるよう努めていきたい。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、利用者の暮らしの様子を質問されたり、グループホームに望まれていることについて話して下さっている。又、介護相談員を受け入れておられ、地域の情報や外出先の提案等もいただいている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			以前利用していた入居者がいた為、認識はある。		研修・講習会へ出席したり、勉強会の時間をふやし知識を向上させたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修等の資料を用いて、重要性を徹底して話し合っている。		全職員に認識を高め、言葉使いなど注意しあっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書、重説以外にもわかりやすくまとめた説明書とその都度用意している。説明後、契約後の問い合わせに関しても、原則として2日以内に回答するようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に大きな意見が出る事が今まで無く、その都度ただく要望については家族、管理者と相談の上、可能なことについては実施していくようにする。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者に関しては、その都度電話で報告している。職員の異動等は郵便にて報告しています。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。又、毎月発行されている「やまとだより」では、写真を多く載せ、行事での様子や畑での収穫の様子を伝えておられる。		さらに、利用者が事業所でどのように生活しているか、様子がわかるような報告の工夫や、ご家族が知りたい情報等も探りながら取り組まれてはどうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に大きな意見が出る事が今まで無く、その都度要望については、可能なことについては対応しています。		年に数回程度、アンケートを実施して御家族様のご意見を聞けたらと思っています。
			(外部評価) ご家族の来訪時等に、意見等を聞くようにされているが、現在、意見を出されることは少なめである。		さらに、ご家族に事業所の取り組みを知っていただき、具体的にご意見をいただけるような働きかけの工夫が期待される。事業所では、今後、行事の際、ご家族にも一緒に楽しんでいただけるよう、招待することも考えておられ、さらにご家族との関係を深めていけるような取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見などは、話し合う時間を作っていく。		不満なども含め、話しやすく、配慮している。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員と話し合い理解をもとめて調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者と管理者と話し合い離職は、最小限に抑え利用者の心理面への配慮をしていく。		利用者が馴染み深い職員の姿が、見えなくなった時の心理的ダメージを思ったら最小限に抑えていきたい。
			(外部評価) 職員の入れ替わりもあるが、管理者は、職員の精神面のフォローに心がけ、サポートするよう努めておられる。		さらに、職員は、職員が替わることでの利用者へのダメージを懸念されている。離職を抑える工夫や、職員が替わっても質の高いケアが提供できるような仕組み作りが望まれる。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 能力に応じて、研修等を計画している。		職員全体のレベル向上を促進していく。
			(外部評価) 外部研修受講時、職員は「ゆび体操」を学ばれ、日々の中に採り入れられた。事業所内の勉強会では、市から配布された「感染症対策」のDVDを見て勉強をされた。		さらに、事業所では、「認知症の方の心理面の理解」や「自立支援」について、勉強を重ねていきたいと考えておられる。さらなる職員のスキルアップから、貴事業所のケアの質向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			市内の9カ所のGHとの交流がもてるようサービス担当者会などで、計画をたてている。		1ヶ月に1カ所ずつ見学会を行い、話し合う時間を設けている。
			(外部評価)		
			市内事業所が合同で毎月、1事業所ずつ見学して回り、その後、話し合うような取組みをされている。市内の事業所全体の質を上げるための取組みに参加をされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			経営者に話を聞いていただけるよう、配慮していただいている。		職員がストレスを溜めないよう努めている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			積極性にムラがあり、研修等の希望に対して推進しているものの、その他については職員個人によって大きく異なっているのが現状		研修後に勉強会の時間をとり、発表して頂く事で、再確認していただく。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に本人、家族関係者より話を聞きアセスメントを仕上げ職員に報告を行う。		入居前に確認した状態と異なる事があるか早めに対応できるよう努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面談時より、密に連絡を取りながら、話を聞くように努めている。		家族会を設立し家族間の交流を深め信頼していただけるよう努力していく。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 御家族様の話を聞き、ご本人様の状況と関係者からの情報で検討して対応するよう努めている。		他の施設も紹介を行うよう努めていく。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族や関係者から情報を収集し、場の雰囲気作りに努めている。		状況に応じては、御家族様のご協力もお願いしながら、行っている。
			(外部評価) 入居間もない頃は、職員は、ご本人と一緒にいて、精神面もサポートをするよう努めておられる。又、精神面が不安定な場合には、かかりつけ医からも、ご本人にアドバイスをしていただくこともある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションを密にとるよう努めている。		家事や野菜栽培などを一緒にしながら、色々な話を話しながら、教えて頂いている。
			(外部評価) 片まひのある方が、畑で採れた豆の皮を自力でむいて下さったことに、職員は感動されていた。又、職員は、農業をされていた方に聞きながら畑作りをされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に入居者と話ながら支援しています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族写真をお部屋に飾ったり、電話でお話していただいたり対応している。		御家族様には、定期的に面会を促していく。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 可能な限り、ドライブで自宅周辺まで行き、知人・友人と出会う機会を設けている。		御家族様のご理解をしていただき、自宅までお連れできるよう検討していく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 生活習慣も違うし、興味を示すものも違い、各グループに分かれて、スタッフが間にはいり支援を行っている。		ホームの行事（七夕飾り）などで、みんなが協力し合い、作業を行なっている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院等で、退所された方には定期的にお見舞い等を行っている。		退所された方にも季節のおたよりを出したり、ホームの行事にお誘いを行う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			1人1人の意向には、極力柔軟に対応するよう努めている。		本人の考えを尊重しながらも、よりオープンに活動ができる方法を検討していく。
			(外部評価)		
			入居時に、ご本人について情報収集をされている。		さらに、ご本人が「どのように暮らしたいか」という希望や意向を探り、すべての職員で共有し、日々の支援に取り組みしてほしい。日々の利用者へのかかわりの中から、ご本人の思いを探るような取り組みをすすめられ、得た情報を蓄積して介護計画につなげていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			いままでの生活習慣を崩さず、支援していくよう努めている。		日常生活の時間は、本人様に合わせて、支援を行う。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			現在の現状把握はみたままであることが多いので、より詳細に観察できる能力を養う必要がある。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月ごと職員に意見を聞き担当者とケアマネージャーが話し合い、ケアプランを立て、御家族様に確認を頂いています。		
			(外部評価)		
			担当職員から聞き取りを行い、管理者が介護計画を作成されている。ご家族には、計画について内容を確認いただき、ご意見をうかがうようにされている。		さらに、ご家族からも介護計画について、具体的にご意見をいただけるよう、働きかけの工夫が期待される。ご本人の「暮らし」と「ケア」について、話し合うような機会を作っていかれてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状態に応じて、介護計画の見直し、変更していく。		より細やかな観察と配慮を持って対応していく。
			(外部評価)		
			3ヶ月に1回の計画の見直しとなっているが、時に管理者は、「ご本人にとって、計画内容が適切であるか」等、考えこむこともあり、遅れがちになることもある。		さらに、利用者の現状に即したケアを提供するためにも、遅れのない介護計画の見直しが望まれる。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護記録には、ご本人様の様子やお話の内容まで記録している為、ケアプラン作成の資料として活用している。		介護記録方法を統一するよう教育は継続している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じて対応している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者が近くのご自宅に戻られる際に同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 救命救急の講座などは、参加しているが、ボランティアなどはまだ受け入れていない。		今後積極的に受け入れていく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 社会福祉の介護支援専門員や在宅介護支援の方と連絡を取っている。		市内の施設の介護支援専門員との交流を深めていけるように努める。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて連絡を取り相談している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 従来の主治医は市内の病院ならそのまま継続し別に往診Drとしてホームの担当医充てている。契約時にご家族に同意を行っている。 (外部評価) それぞれのかかりつけ医を受診する際には、職員が同行し、医療機関と話し合っておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 係付け医院とホームDrに相談している。		検討していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医院を変えないので、入所前、入所後の変化などを相談している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中お家族と密に連絡を取り合い、状態を把握し入院が1ヶ月越す場合はご家族様と同席させて頂き、Drに話を聞くようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) かかりつけ医と密に連絡はとりあい、ご家族の意向も繰り返し聞き職員とも繰り返し話合う。 (外部評価) 現在は、主治医の判断に沿っての支援となっており、ご家族にも伝えておられる。事業所では、将来的には、重度化や看取りについても支援したいという意向があり、現在、体制作りに向けて取り組みの途中である。		ターミナルケア実践に向けて、専門的な知識・技術を身に付ける必要がある。 ご家族やご本人の中には、事業所で最期までお願いしたい、という思いを持っておられる方もあり、事業所では、今後、緊急時の対応や、利用者個々の疾患についての知識や理解を深め、体制を作っていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 状態の変化時、かかりつけ医に連絡をとり、連れて行く。緊急時の対応方法はマニュアルとして用意されている。		チームとして支援体制を整えられるよう、経営者と相談していく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移動される事業所に文書にして渡している。必要に応じて電話でも対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人情報の保護とプライバシーを損ねない、声かけは教育を行い徹底している。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者の意見を聞くようにされており、できないことについては、理由を伝えるようにされている。事業所では「やさしく声かけすること、その人を受け入れること、そばにすること」に特に心がけておられる。</p>		<p>職員の利用者への対応や声かけ、言葉使い等について、時に意見交換を行うような機会を作ってみてはどうだろうか。</p>	
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員が声かけを行い、可能な限り希望にそった支援を行っている。</p>		<p>本人の思いが表せる雰囲気作りに努める。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1人1人の生活を崩さず、その人のペースで過ごしていただくように支援している。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>昼食後は、居室で休まれる方や、居間で広告折をされる方もうかがえた。</p>		<p>日々のその人らしい暮らしの支援に向けて、個々の意欲や自信を高めるような職員のかかわり方について、工夫を重ねていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) ご本人より希望のある方は優先して、それ以外の方は ご家族とご相談し、対応している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	(自己評価) 現在施設用メニューで運用しているが、その都度変更 も行っている。入居者と後片付けをしたり時々準備も している。 (外部評価) 食器拭きをされている利用者がおられた。畑の野菜を 使った料理等もされている。		入居者の誕生日などの時は、ご本人の好きな物をお出 ししている。 利用者個々のできることできそうなことを探り、利用 者個々が食事一連の流れにかかわることができるよう な、支援の工夫が期待される。食事をさらに楽しい時 間にするための工夫について、この機会にすべての職 員で話し合われてみてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) コーヒー・ジュース・おやつ類は対応しているが、たば こ・アルコールは対応していない。希望される方もい ない。		今後希望される方が入居された場合は対応していく。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) 表情などを観察してトイレ誘導を行っている。		入居前はオムツだった方が、現在布パンツに変更され た方2人いらっしゃいます。今後もトイレ誘導に努めて いく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の希望に合わせて入浴できるように支援している。		入浴が嫌いな方の円滑な入浴方法については、職員で話し合いながら行っている。
			(外部評価)		
			職員とおしゃべりを楽しみながら、お風呂に入られる方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			ご本人様の希望を第一に休憩時間を設定している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			塗り絵、広告紙でゴミ箱作り、カラオケなど楽しんでいる方も増え、またホームの畑に興味をもっていたり方もいる。		1ヶ月に1~2回は、ドライブにお誘いして全員外出できるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			畑をご自分の畑と思われ、熱心に手入れされる方もいる。又、日々の散歩は、朝夕にされる方もいる。共用空間でカラオケを楽しまれる方もいる。		さらに、利用者一人ひとりの事業所内・外での役割、楽しみごと等について、職員で話し合ってみてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			現在入居者にお家族がお金を持たせている方はいる、その方については時々お買い物をしていただくが、その他の方については、お家族とお話が出来ていない為行っていない。		今後お家族と協議し、お買い物も支援できるように計画していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			病院通院・散歩とご本人に合わせて、出かけられるよう支援している。		
			(外部評価)		
			日々の散歩や月に1回、外出の機会を設けておられる。		さらに、ご本人の欲しいものや行いたいこと等の希望に焦点を当てて、個別の外出支援につなげてみてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ドライブなど計画する時は、1人ひとりに希望を聞いて対応している。		地域行事などには、ご家族様にもお声をかけている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			適宜対応している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族・知人・友人・ご兄弟・姉妹と訪問していただいている。		あまり来られないご家族には、電話をさせて頂いております。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全職員知識的には、理解している。身体拘束は、一切禁止してある。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜勤者1名のみになる時間帯に限り、玄関に施錠している他は常に開錠してある。 (外部評価) 玄関は施錠されていない。		さらに、訪問したくなるような雰囲気作りや、利用者が外出したくなるような雰囲気作りの工夫を重ねていかれてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 1時間～2時間に1度は巡回を徹底している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険を伴う物については説明して事務所管理としている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会の時間をつくり常に、意識向上を図っている。		職員の危険を予見する能力を養い、未然に防止できるよう徹底していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救急救命講座を全職員に受講している。		入居者の急変時の対応については、その都度伝えている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域区長と連動し、各種災害時の協力を頂くようお願いしている。また地域の災害訓練にも参加している。その他の状況に対しては災害対応マニュアルに順次運用している。 (外部評価) 年1回、事業所で避難訓練を行っておられる。		さらに、今後、年2回、訓練を実施し、夜間時を想定した訓練や、地震等の災害を想定した訓練を行うことを予定されていた。又、地区で行われる防災訓練にも、参加する予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 契約時及び一定期間経過後、現状を説明し、起こりうる状況についての説明は実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックを行い異常があれば速やかにかかりつけの医師に相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者1人ひとりの服薬については、把握しており、服薬時間ごとに用意しお渡しし、服薬確認をしている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排泄確認を行い、便秘の状況にある場合は医師に相談し極力運動と水分には注意し自然排便を促している。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後は磨き、うがいをしてもらおうと支援している。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食の食事量、水分量はチェックを行い、不十分と感じる時や発汗時には、水分を摂取いただくよう促進している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、食事は、カロリー計算された食材が届くようになっている。夜間は、ペットボトルにお茶を入れ、居室に準備されており、職員が声をかけて飲んでもらうようにされている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価)</p> <p>DVD資料など上映しながら、勉強会を行い感染予防の必要性を説いてある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理するための食材は、外部業者委託により納入している。それ以外の食材も常に在庫と状況を把握し、余剰在庫が出ないように管理している</p>		<p>布巾、台拭きは毎日交換し、次亜鉛素酸ナトリウムで消毒している。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関に狭いながらスロープは用意してある。道路にすぐ面しているため、段差の解消が困難である。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節ごとに掲示物を交換し、季節感を出す努力はしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>きれいに掃除され、天窓等から光が入るようになっていた。窓からは自然が眺められる。調査訪問時は、敬老の日に保育園児の訪問があったため、色とりどりの飾りつけがなされていた。トイレのカーテン等、プライバシーに配慮が必要などところも見受けられた。</p>		<p>現在、2階の共用空間の椅子やソファの配置、1階のソファ等、利用者がより居心地よく過ごせるような配置の工夫を考えておられる。利用者とも相談しながら、すすめられてほしい。さらに、トイレ等、プライバシーへの配慮に向けた取り組みが望まれる。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各場所にソファや椅子を用意し、複数グループでも対応できる場所を設けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時にご家族様に協力いただき、極力馴染み深い物 をお持ちいただくようお願いしている。		
			(外部評価)		
			テレビ、椅子、タンス等、馴染みのものが持ち込まれて いた。		居室の紙おむつ等、収納についてもプライバシー保護 の観点から、配慮が望まれる。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな 差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各居室に換気扇・エアコンは備え付けられているが、 日中は換気を行い、屋内ににおいが残らないよう努め ている。夏場は27度、冬場は24度で屋内を設定して いる。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーに基づく基準により建物は整備されて いるため対応している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			残存機能を最大に発揮できるような環境の整備と介護 の工夫を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物に隣接する形で畑で農作物を栽培しており、利用 者と共に収穫を楽しみながら栽培を行っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者一人ひとりの希望に添って、可能な限り職員は行動している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食堂でゆっくり話す機会をつくり、利用者さんと笑顔で会話ができるように心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各々が自由きままに過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話や動作の中からも笑顔が見られ、満足頂いていると思う。しかしながら、意思疎通が困難な方については万全とは言いがたい状況である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩、各月のドライブ・お花観覧・花火大会など、ほぼ実行できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	係りつけ医、担当医との定期的な連絡を通じ、医療体制の強化を図っている。施設内の危険箇所の整備も行い、安全であると考えている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね要望にこたえる努力はしているが、集団生活の中でどうしても実行不可能な事項であったり、金銭的に問題がある場合などは実行できていない。又、ご家族様の要望により一部抑制いただいている部分もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問頂いた時の職員の違いにより、伝達内容が十分に感じられない場合がある。涉外担当者の携帯電話をお教えしている為、直接お話いただける場合もあるので、状況の把握については的確に行っていると考える。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	ホームへお見えになる方は、特定の方に限られている。ご家族様経由でより面会者が増せば良いかと思っている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域住民の方々にも施設を知って頂き、区長さん、民生委員さんをはじめ、他事業所を含む方々とパイプもつながり、公民館行事、保育園行事など参加のお誘いも増えてきた。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員ひとりひとり自覚を持ち、勤務組み合わせも協力、助け合いをしながら利用者さんの介護を行っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思をあらわにされない方もおり、本意を知ることがは困難ではあるが、全ての事柄に満足されているというのは難しいのではないかと考える。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族様から要望、クレームを頂く事が今の所ほとんど無い。そのため満足度についても度合いを測ることができないが、少なからず不満に感じている箇所はあるのではないかと考える。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

明るく・楽しく・穏やかにという理念の元、全ての入所者が生きがいを持ち、自分らしさを失うことなく、生き生きとした生活を送って頂けるよに、入居者と共に笑顔で介護の実践に取り組んでいます。毎月(やまとだより)を発行しご家族様に配布し、壁にも掲示しています。内容は行事報告や写真を載せて、行事予定を記載し、利用者の近況報告をしています。